

各位

平成 19 年 1 月 11 日

会社名 株式会社ファーストエスコ
代表者名 代表取締役社長 筒見 憲三
(コード番号: 9514 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画部長 島崎 知格
(TEL. 03-3538-5881)
URL. <http://www.fesco.co.jp/>

木質バイオマス専焼発電所「株式会社日田ウッドパワー日田発電所」 燃料としての樹皮(バーク)受入れ開始のお知らせ

1. 燃料としての樹皮(バーク)受入れ開始について

省エネルギー支援サービスを基盤とした総合エネルギーサービス業を目指す株式会社ファーストエスコ(代表取締役:筒見憲三、所在地:東京都中央区京橋 2 丁目)では、木質バイオマス(1)専焼発電所「株式会社日田ウッドパワー日田発電所」(大分県日田市)を、100%出資子会社である株式会社日田ウッドパワーを事業会社とし、平成 18 年 11 月 1 日より操業開始しておりますが、このたび同発電所にて、ボイラ用燃料として樹皮(バーク)の受入を開始いたしました。

同発電所では、ボイラ用燃料となる木質チップを、既に業務提携している日本樹木リサイクル協会(大阪市淀川区)の加盟社である株式会社九州ウッドマテリアル(大分県日田市)から購入し、これまで CO2 を発生させない環境にやさしい発電所として、地元地域ほか、多くの方々のご理解とご協力のもと、現在まで順調に操業を続けてきております。

一方、地元大分県日田市では、原木市場や製材所から出るスギ等の樹皮が大量に発生し、その処理と有効活用が大きな課題とされてきましたが、木質バイオマス専焼発電所設備においては、樹皮は燃料搬送設備で詰まり・絡まりを生ずるなど、ボイラ用燃料として使用することが困難と考えられてきました。

そこで株式会社日田ウッドパワーと株式会社九州ウッドマテリアルは、地元日田市の原木市場や製材所で大量に発生するスギ等の樹皮を、ボイラ用燃料として有効活用するための方法について検討を重ねてきました。その結果、皮むき機から発生した樹皮を、切断機にて約 50 ミリ程度に切断したものであれば、樹皮の搬送方法を工夫することにより設備に障害を起こすことなく、比較的容易に使用可能となることがわかりました。

株式会社日田ウッドパワー日田発電所では、平成 18 年 12 月より樹皮(バーク)の試験投入を行い、今後徐々にその投入量を増やしていく計画で、同発電所の燃料の一部を樹皮(バーク)にて賄う予定です。

株式会社日田ウッドパワーと株式会社九州ウッドマテリアルは共同して、地元貢献のため樹皮の燃料化を進めていき、大分県日田市の樹皮利活用に関する問題に今後も積極的に取り組んでまいります。

2. 今後について

本件に伴う当期（平成 19 年 6 月期）連結業績に対する影響は、軽微であります。

※1. バイオマス

再生可能な生物由来の有機性資源で化石資源を除いたものを示します。バイオマス資源は、植物が光合成によって空気中の二酸化炭素を取り込んで生長するため、バイオマス燃料によって放出される二酸化炭素は、地球上に存在する二酸化炭素量のバランスを崩さない「カーボン・ニュートラル」とであるとされています。

以上